

22年4月20日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

難聴ボランティア (難聴の方を支援する事業活動)

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

世の中 高齢者は増加傾向であり、特に長命者が多くなりつつある現状です。年齢から来る難聴の方が多く含まれ、普通の生活に困っている方も居ます。この様な方に、正確な検診と正しい補聴器の使用方法を体験して戴き、元気に普通の生活が可能にしてあげる事が出来る事業です。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

難聴で困っている方を発見して、ご本人のご希望に合わせて補聴器店で聴力の測定・病院で検診。結果により行政を通じて東京都の検査センター、又は資格のある医師の診断を受け現実を正しく把握する。身体障害の申請可能と思われる方はその手続きを行う。そして 補聴器の必要な場合無料で約10日間の使用テストを行ってから購入を検討する。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

【申し込み者の増加対策】①府中市の広報に記載した募集のコピーと案内のチラシを会議等で配布。②支援した方を通じて口コミ対策 [購入方法の指導] ①医師から紹介のあった店舗で無条件で購入しない。②同じ値頃であれば、3つのメーカーの補聴器を試して一番聞こえのよいものを選ぶ。③購入を決定するには、10日間程無料使用テストさせて貰うと同時に電池の持つ時間と無償保証期間と修理期間の確認 [結果苦情が少なくなった] [自分自身の補聴器業界の知識の向上] 資料の収集と情報の収集で関係先を訪問

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

消費者が安心して、[耳]にマッチした補聴器を現在の価格より安く購入する為に[流通革命]が必要。この為に消費者の意見を強く繁栄させる事の出来る団体の設立。[補聴器使用者協会]の設立準備を実施する。相談者には、年配・耳の聞こえがよくない等で同行支援を実施して来たが、マップとマニュアルの作成と徹底した指導で対応が可能か試す。3年目のご支援を戴き厚くお礼申し上げます。参加者への支援が無料から有料に変更しても、喜んで戴ける支援内容の出来る能力を持つ努力を致します。あと2・3年は必要です。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○ 参考資料あり : 特になし